

相談支援センターだより

秋田大学医学部附属病院
相談支援センター 発行
第7号平成21年4月21日

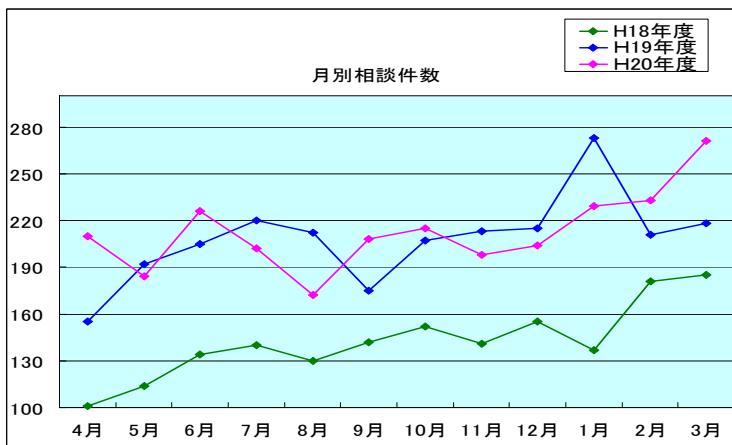
・年度初めの挨拶・

相談支援センター 看護師長 今野 笑子

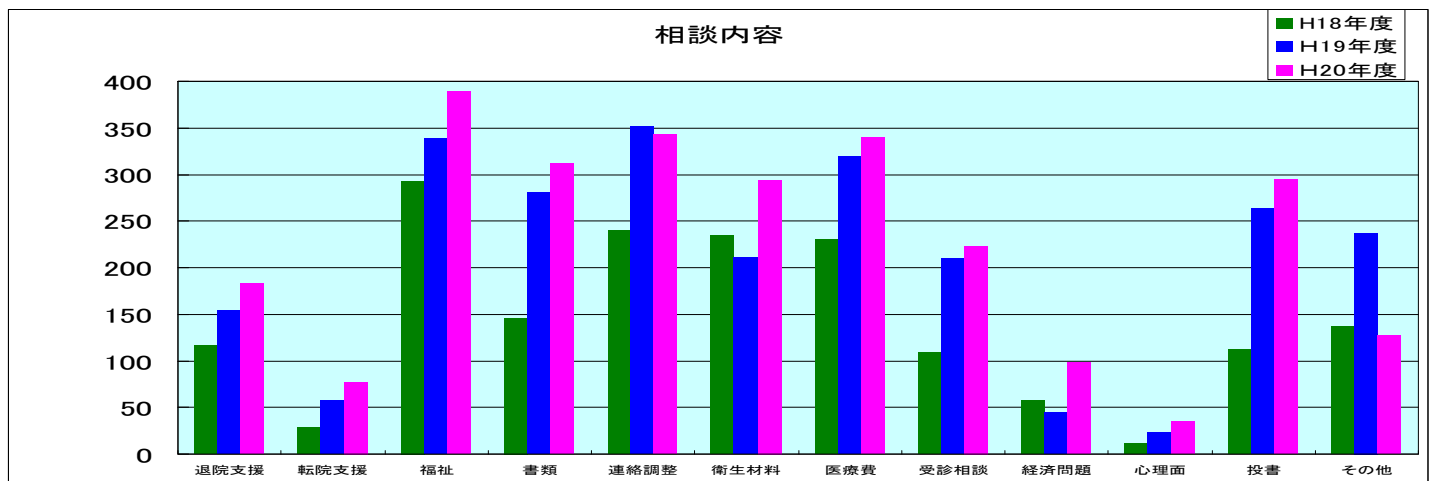
相談支援センターは「地域連携」「がん相談支援」「医療相談」などで活動をしています。退院支援に関しては、昨年からの退院支援スクリーニングシートを全病棟で利用しており、退院支援依頼件数も多くなりました。病棟はじめコメディカルとの連携がなされた結果だと感謝しております。今後も相談ごとや退院支援依頼など連携をとりながら活動していきたいと考えていますのでご協力の程お願いします。

【活動状況】～月別相談件数推移と相談内容について～

平成20年度の新規相談件数は2,552件でした。年々増加傾向にあり平成18年度と比較すると1.5倍になっております。特に福祉（介護保険・身体障害者・更生医療申請など）、院内・外との



連絡調整、医療費、書類等に関する相談が多く、退院支援についても院内スタッフからの依頼が増えております。昨年度より2倍の依頼件数があった診療科もあり今後もさらに増加することが予想されます。患者さんが安心して治療を受けることができるように、また一日も早く住み慣れた地域に帰ることができるように、相談支援センターを活用してください。



「皆さんのご意見・ご要望」より

当院をご利用になる皆様の声を一部掲載させていただきます

ケース1：A科を受診した者です。普段から待ち時間が長い科ですが、今日は3時間待っても全く患者が減りません。待ち時間が長くて具合が悪くなってきたので、受付の方に尋ねたところ、担当の先生が急病で他の先生が自分の患者の後に診て下さるということでした。3時間以上待って、しかもこちらから聞かないと教えて頂けないのでしょうか？ B科では、先に昼食をすませるように言って下さいますが。ちなみに4時間後に診ていただきました。

(回答)：A科外来診療も他科同様原則主治医制に変わり、担当医の診察予約の変更が事前に分かっている場合には、患者様へご連絡を差し上げる等の改善を行ってきております。ただ今回の様な急な事態の場合には、担当医師以外の医師が、自分の予約患者様の診察の合間に診療を行っており、どうしても本来の待ち時間よりも長くなってしまいます。また、事務職員が各医師の診療進行状況を適宜確認し、他科との複数受診の患者様には、他科を優先して頂く等の対応はさせて頂いております。今後は待ち時間の短縮化等のサービス向上に努めて参ります。

ケース2：毎週A科に通う患者です。先週までA科外来を担当されていた看護師さん、大変お世話になりました。明るい笑顔と元気のいい声にいつも励まされました。異動先でも頑張ってください。

【患者情報提供コーナーについて】

相談支援センター前に加えて、『放射線外来』、『玄関ホール』に患者情報コーナーを設けております。自分（あるいはご家族）の病気や治療の事を知りたい、福祉や高額医療費について知りたい等、そんな患者さんのための情報提供コーナーです。

がん関連、一般健康関連の本、闘病記、小冊子など取り揃えておりますので、患者さんやご家族への周知にご協力をお願いします。

放射線外来



玄関ホール
(ピアノ横)



相談支援センター前
*各種本・闘病記を
揃えています



編集 後記

日々、彩りの美しさが増してくる季節がやってきました。新年度がスタートして1ヶ月が過ぎ、緊張や新鮮なことの連続ではなかったでしょうか・・・相談支援センターも新しいメンバーを迎え総勢12名となり、より一層皆さまのご依頼に応えられるよう努力してまいります。

